

生涯学習 この人に聞く その〔17〕

人生100年時代のフロントランナー

「観光ボランティアの会」横田 和三さん

人生 100 年時代を迎え、仕事をやめてから「学び返しをする人」もいれば、「まったく新しい分野に挑戦する人」もいます。そのひとり、70 歳を過ぎてから新しく「府中市観光ボランティアの会」で活動を始め、傘寿を目前にしても元気一杯の横田和三さんに、日々の活動を楽しむコツなど、いろいろとお話をお伺いしました。



ボランティアを始められたきっかけは？

69 歳で会社を退職後暫くして、市の広報で「観光ボランティア」のことを知りました。私は押立生まれの押立育ち、もちろん今も押立在住です。昔のことはよく知っていますので、府中の歴史や風土を紹介することならお役に立てるのではと思い「観光ボランティアの会」に入会し、活動を始めました。府中にまつわることをもっと広く深く知って、それを市民の方に広めていきたいと思ったのです。今から 8 年前のことです。

「観光ボランティアの会」の活動内容は？

会のメンバーは、予め決められた観光ルートに従ってガイド役をします。現在約 20 名で、2 つの活動をしています。

1 つ目は「市内観光ミニツアー」(右図)大國魂神社が起点の 4 コースを、午前 10 時から 2 時間程度で案内しています。(毎週木曜と第 1 土曜が活動日：雨天中止)他にリクエスト(日時・コース等)によるツアーも受けことがあります。



2 つ目は「観光ガイドツアー」で、毎月 1～2 回実施します。会のメンバーが年初に 40～50 のアイデアを出し合って、その中から選びます。テーマと実施日は「広報ふちゅう」に都度掲載されますので、興味ある方はぜひご参加ください。次回 3 月は「桜咲く多磨霊園～故人に想いをはせる」なのですが、私の担当なので、今、毎日準備中です。今日(取材日：2/19)も図書館に行ってきました。3 時間くらいで案内できるルートを決めたり資料を作ったりしています。楽しいですよ。



観光ボランティアの活動の様子

どんな人がツアーに参加されるのですか？

府中市民だけではなく、近隣の多摩地区や他からも多くの方が来られます。この間は千住から来たという人もいました。インターネットで知ったそうです。参加者は 1 人の場合もグループの場合もあります。

横田さんたちがガイドをしていて嬉しいことは？

最大の喜びは、案内した皆さんに、「あっ、そうなんですか!」「府中に住んでいるけど、知らなかった」と府中の歴史や風土をもう一步深く知ってもらえることです。苦勞して準備し詳しく説明した甲斐があります。府中は古い街で、町名や通りごとに歴史があります。そのことをもっと知って欲しいのです。そのためにもっと私たちの会を使ってもらえればと思います。

この活動に必要なことは？

地元への興味と知識ですね。これには昔からの習慣が役立ちました。私は旅行・登山・写真が趣味で、旅行のたびに行く先のことを事前にしっかりと調べ、帰宅後は旅行記を書いて残していました。観光ボランティアをするのも同じで、日頃から、疑問を持ったこと、質問を受けたことや市内の気になった場所のいわれ・歴史を徹底的に調べて書き留めます。項目別にファイルして頭に入れたら、ガイドする場所と相手に合わせ、古い和歌なども織り込みながら案内をしています。

(右上写真、横田さんの手にあるのがそのファイル)

会のメンバーでも途中から府中に移ってきた人が大半です。私は生まれてからずっと 80 年近くも府中にいるのですから、より内容の濃い、分かりやすいガイドをしようと心がけています。

これから取り組みたい学びは？

コンピュータの使い方を覚えたいですね。私の資料は相変わらず手書きなのですが、そろそろ面倒になってきましたから(笑)。

インタビューを終えて：

横田さんは、リタイア後、新しい分野に挑戦し勉強し、それを活かし続ける魅力一杯の人でした。まさに人生 100 年時代のフロントランナー。いつまでも元気で頑張ってください！ (取材・鈴木/西谷/柴田/山田)

「観光ボランティアの会」では、新規会員を随時募集中 問合せは 観光情報センター (TEL042-302-2000) へ

